



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月5日

上場会社名 ニチコン株式会社 上場取引所 東
コード番号 6996 URL <https://www.nichicon.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）森 克彦
問合せ先責任者 （役職名）広報・IR部長 （氏名）横場 幹人 TEL 075-231-8461
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	44,714	12.9	2,841	292.1	3,497	233.0	2,471	108.1
2026年3月期第1四半期	39,601	△3.8	724	377.6	1,050	△27.3	1,187	△31.3

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 6,809百万円（462.9％） 2026年3月期第1四半期 1,209百万円（△76.3％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	36.79	—
2026年3月期第1四半期	17.68	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	205,267	128,788	60.9
2026年3月期	195,570	123,517	61.2

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 124,964百万円 2026年3月期 119,603百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	18.00	—	19.00	37.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		19.00	—	20.00	39.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	185,000	9.0	8,700	34.8	9,000	8.1	6,700	6.2	99.76

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	70,000,000株	2026年3月期	70,000,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	2,841,614株	2026年3月期	2,841,357株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	67,158,583株	2026年3月期1Q	67,159,205株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2026年4月1日～2026年6月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、物価上昇やエネルギー価格の高止まりに加え、海外の通商政策の動向や中東情勢を含む地政学的リスクなどにより、先行き不透明な状況が続きました。海外経済においては、米国を中心としたAI関連投資の拡大に支えられ、全体として景気は堅調に推移しました。一方、中国では不動産市場の低迷や内需の弱さを背景として、景気低迷が続きました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は44,714百万円と前年同期比12.9%の増収となりました。また利益につきましては、営業利益は2,841百万円と前年同期比3.9倍の増益、経常利益は3,497百万円と前年同期比3.3倍の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,471百万円と前年同期比2.1倍の増益となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

(コンデンサ事業)

コンデンサ事業における売上高は27,580百万円(前年同期比13.5%増)、セグメント営業利益は1,522百万円(前年同期比2.3倍増)と増収増益となりました。

コンデンサ事業においては、情報通信分野および車載関連機器分野を最重点市場と位置付け、市場ニーズに対応した高付加価値製品の開発・拡販を推進しています。

情報通信分野では、生成AIサーバーおよびデータセンター向け設備投資は一段と活発化しており、これを背景に当社においても導電性高分子アルミ固体電解コンデンサ、導電性高分子ハイブリッドアルミ電解コンデンサなどに加えて、AIサーバー電源用大形アルミ電解コンデンサにつきましても需要は拡大傾向となっています。当社は同分野を重点成長市場と位置づけ、開発から量産までのビジネスサイクルのスピードアップを含む供給体制の強化を継続し、市場拡大に対応してまいります。同様に、重点市場分野である車載関連機器向けにつきましても、ADAS(先進運転支援システム)および電動化ユニット向けに搭載される導電性高分子ハイブリッドアルミ電解コンデンサの需要が拡大基調を維持しています。当社は増産体制の整備を継続し、顧客要求に適切に対応してまいります。xEV向けフィルムコンデンサについては、既存案件の需要回復と新規案件の量産開始により大幅増収となり、成長軌道へと転じています。当社は、需要拡大が見込まれる導電性高分子アルミ固体電解コンデンサ、導電性高分子ハイブリッドアルミ電解コンデンサおよびAIサーバー電源用大形アルミ電解コンデンサの製品ラインアップ拡充に加え、xEV向けフィルムコンデンサの生産能力増強および技術開発体制の強化を進めており、車載・車両および情報通信の重点成長市場における受注拡大と事業の持続的成長の実現に取り組んでまいります。

(NECST事業)

NECST事業における売上高は17,134百万円(前年同期比12.0%増)、セグメント営業利益は1,318百万円(前年同期比20.3倍増)と増収増益となりました。

NECST事業では、家庭用蓄電システムを中核とするエネルギー環境分野を重点成長領域と位置付け、事業拡大と競争力強化を推進しています。

家庭用蓄電システムは、新たなフラッグシップモデルであるトライブリッド蓄電システム®「ESS-T5/T6シリーズ」が、政府・地方自治体が促進する補助事業との相乗効果が得られたことなどにより伸長しました。スイッチング電源では、主力のドキュメント市場向けが米国関税問題および中国市場停滞の影響が続いています。応用製品関係の大型特殊電源については、産業特殊用等を中心に計画どおり堅調に推移しました。昨今の国際社会情勢の中でエネルギー価格に著しい変動が見られることやGX ZEHへの対応などから、蓄電システムだけでなく、EV関連機器の市場が活性化していくと見られます。当社は、脱炭素社会の実現に貢献することとあわせて、エネルギーマネジメントに関するソリューション提供を積極的に展開してまいります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前期末(2026年3月末)に比べ9,696百万円増加し205,267百万円となりました。主な増減の内容は、有価証券・投資有価証券が前期末に比べ4,914百万円増加し34,490百万円、現金及び預金が前期末に比べ3,157百万円増加し27,648百万円、棚卸資産が前期末に比べ2,129百万円増加し34,431百万円となったことなどによるものです。

負債合計は、前期末に比べ4,425百万円増加し76,478百万円となりました。主な増減の内容は、電子記録債務が前期末に比べ2,809百万円減少し7,217百万円となった一方で、支払手形及び買掛金が前期末に比べ4,498百万円増加し17,769百万円、繰延税金負債を含む固定負債その他が前期末に比べ2,039百万円増加し8,065百万円となったことなどによるものです。

純資産は、前期末に比べ5,271百万円増加し128,788百万円となりました。主な内容は、その他有価証券評価差額金が3,376百万円増加し16,960百万円、為替換算調整勘定が790百万円増加し14,446百万円、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益を2,471百万円計上、配当金の支払いを行ったことで前期末に比べ1,195百万円増加し65,914百万円となったことなどによるものです。この結果、自己資本比率は60.9%となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、前年同期に比べ3,034百万円収入が増加し5,882百万円の収入となりました。これは主に、棚卸資産の増加額が1,891百万円となった一方で、税金等調整前四半期純利益を3,698百万円、減価償却費を2,044百万円計上したことに加え、仕入債務の増加額が795百万円となったことなどによるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、前年同期に比べ579百万円支出が減少し1,049百万円の支出となりました。これは主に、有価証券・投資有価証券の売却・償還による収入が323百万円となりましたが、有形固定資産の取得による支出が1,282百万円、投資有価証券の取得による支出が199百万円となったことなどによるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、前年同期に比べ74百万円支出が増加し2,011百万円の支出となりました。これは主に、配当金の支払額が1,276百万円、長期借入金の返済による支出が625百万円となったことなどによるものです。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ3,207百万円増加し27,648百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2026年5月8日(2026年3月期決算発表時)に公表しました内容に変更はありません。

なお、業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,491	27,648
受取手形、売掛金及び契約資産	42,252	42,346
電子記録債権	5,161	5,397
有価証券	200	100
商品及び製品	14,350	15,991
仕掛品	6,633	6,825
原材料及び貯蔵品	11,318	11,614
その他	3,358	3,031
貸倒引当金	△99	△100
流動資産合計	107,667	112,855
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,397	18,544
機械装置及び運搬具（純額）	17,913	20,807
その他（純額）	16,227	13,018
有形固定資産合計	52,538	52,370
無形固定資産	2,139	1,920
投資その他の資産		
投資有価証券	29,376	34,390
その他	5,704	5,591
貸倒引当金	△1,855	△1,861
投資その他の資産合計	33,225	38,120
固定資産合計	87,903	92,411
資産合計	195,570	205,267

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,270	17,769
電子記録債務	10,027	7,217
短期借入金	8,400	8,400
1年内返済予定の長期借入金	2,500	2,500
未払法人税等	1,336	845
賞与引当金	1,521	652
その他	10,148	12,680
流動負債合計	47,204	50,066
固定負債		
長期借入金	13,250	12,625
その他の引当金	4,769	4,957
退職給付に係る負債	802	763
その他	6,026	8,065
固定負債合計	24,848	26,411
負債合計	72,053	76,478
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,286	14,286
資本剰余金	16,856	16,856
利益剰余金	64,719	65,914
自己株式	△3,498	△3,499
株主資本合計	92,364	93,558
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,584	16,960
繰延ヘッジ損益	—	△1
為替換算調整勘定	13,655	14,446
その他の包括利益累計額合計	27,239	31,406
非支配株主持分	3,913	3,824
純資産合計	123,517	128,788
負債純資産合計	195,570	205,267

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	39,601	44,714
売上原価	33,304	36,020
売上総利益	6,296	8,694
販売費及び一般管理費	5,571	5,852
営業利益	724	2,841
営業外収益		
受取利息	58	69
受取配当金	345	534
持分法による投資利益	26	11
為替差益	—	5
その他	99	160
営業外収益合計	530	781
営業外費用		
支払利息	63	74
為替差損	65	—
その他	76	51
営業外費用合計	205	125
経常利益	1,050	3,497
特別利益		
固定資産売却益	0	6
投資有価証券売却益	211	203
特別利益合計	212	210
特別損失		
固定資産処分損	0	8
特別損失合計	0	8
税金等調整前四半期純利益	1,262	3,698
法人税、住民税及び事業税	161	514
法人税等調整額	△216	582
法人税等合計	△54	1,096
四半期純利益	1,316	2,601
非支配株主に帰属する四半期純利益	128	130
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,187	2,471

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	1,316	2,601
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,009	3,287
繰延ヘッジ損益	—	△1
為替換算調整勘定	△922	890
持分法適用会社に対する持分相当額	△193	30
その他の包括利益合計	△106	4,208
四半期包括利益	1,209	6,809
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,113	6,637
非支配株主に係る四半期包括利益	95	172

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1 四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1 四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,262	3,698
減価償却費	1,962	2,044
投資有価証券売却損益 (△は益)	△211	△203
売上債権の増減額 (△は増加)	3,048	79
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△543	△1,891
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,482	795
その他	375	1,842
小計	3,410	6,366
法人税等の支払額	△903	△1,013
その他	340	529
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,848	5,882
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△499	—
有価証券の売却及び償還による収入	100	100
有形固定資産の取得による支出	△1,048	△1,282
投資有価証券の取得による支出	△99	△199
投資有価証券の売却による収入	300	223
その他	△381	109
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,629	△1,049
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△625	△625
配当金の支払額	△1,208	△1,276
自己株式の取得による支出	△0	△1
その他	△103	△109
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,937	△2,011
現金及び現金同等物に係る換算差額	△214	385
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△932	3,207
現金及び現金同等物の期首残高	25,519	24,441
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,587	27,648

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	コンデンサ事業	NECST事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,297	15,303	39,601	—	39,601
セグメント間の内部売上高又は振替高	188	—	188	△188	—
計	24,485	15,303	39,789	△188	39,601
セグメント利益	659	64	724	0	724

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の取引消去等です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	コンデンサ事業	NECST事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,580	17,134	44,714	—	44,714
セグメント間の内部売上高又は振替高	71	—	71	△71	—
計	27,651	17,134	44,786	△71	44,714
セグメント利益	1,522	1,318	2,840	0	2,841

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の取引消去等です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。